



WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2010～2011年度
国際ロータリーのテーマ
地域を育み、大陸をつなぐ
2010～2011年度
RI会長 レイ・クリンギンスミス

創 立：1980年(昭和55年)1月10日
会 長：田中 隆義
事 務 員：加納 裕
クラブ委員：梅村 昌孝
例 会 日：毎週木曜日PM12:30～
例 会 場：ヒルトン名古屋

事 務 局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
T E L：052-211-3803
F A X：052-211-2623
M A I L：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

第1500回例会

～雑誌月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2011年4月7日(木) 曇 第37回

1500回記念例会

司 会：大嶽達郎会場副委員長
斉 唱：「君が代」「奉仕の理想」

会長挨拶

田中隆義会長

皆様今晚は、先週3月31日に加納幹事と一緒に中日新聞社を訪れ、東日本大震災の義援金として、台北延平RCとの共同で350万円を募金してきました。入口の掲示を見ていただけたと思いますが、4月2日の中日新聞に掲載されました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



今日は創立1500回の節目の記念例会です。瑞穂RCは1880年(昭和55年)1月10日に第1回の例会を行いました。チャーターメンバーは34名で、初代会長は鈴木俊雄さん、幹事は春日良平さんでした。5月10日にチャーターナイトを行い、その時会員は8名増えて42名になっていました。後程ご紹介させていただきますが、チャーターメンバーの方は現在9名いらっしゃいます。

創立10年後の1990年(平成2年)1月25日に500回記念例会を迎え、この年度の会長は森真佐雄さん、幹事は佐藤善乙さんでした。この時、チャーターメンバー12名が退会していましたが、89名の会員数と成長いたしました。この年度には松井善則さん、岡本忠史さんが入会されています。この年の5月に創立10周年記念式典が開催されました。

創立20年後の2000年(平成12年)6月29日に1000回記念例会を迎え、この年度の会長は茶畑弘道さん、幹事は松井善則さん、会員数は97名でした。この年度には馬場將嘉さんが入会されています。この年の5月に創立20周年記念式典が開催されました。

このように、創立10年目に500回例会、創立20年目に1000回例会を迎えました。創立30周年は昨年度開催し、少し周期が変わりましたが、今日は1500回記念例会を皆さんと一緒に祝いすることができました。これもひとえにチャーターメンバーを始め、先輩の方々のご尽力、ご苦勞のお陰と感謝申し上げます。そして現会員である私達は一層の努力と親睦を深め、瑞穂RCを発展させることが先輩方のご尽力に報いることになるものと思います。今年度の会長テーマである『新たなる前進』で11年後の2000回例会に向け、会員一同が協力し、瑞穂RCが益々発展することを祈念し、会長挨拶といたします。

委員会・同好会報告

親睦活動委員会：入山治樹委員長

4月10日(日)春の家族会のお知らせです。湯谷温泉、鳳来寺の気温が非常に低いそうです。防寒対策をしっかりと、参加されるように家族の皆様にお伝え下さい。

チャーターメンバー紹介

メンバー紹介：田中隆義会長



現在チャーターメンバーの方は9名いらっしゃいます。31年間ありがとうございました。

本多 清治さん、岩田 吉廣さん
野崎 洋二さん、大川 嘉成さん
佐藤 善乙さん、高村 博三さん
宇佐美貞夫さん、春日 良平さん
嶺木 一夫さん

お礼の言葉：岩田吉廣さん

今日はゴルフの後に1500回記念例会にやってきました。2000回記念例会には出席できるかどうか分かりませんが、頑張りたいと思います。本当に長い間、仲良くしていただけたことを感謝しています。ありがとうございました。

会葬御礼

野崎洋二さん

この度私の兄の野崎博のお通夜や葬儀、告別式には瑞穂RCからも大勢の方々のご弔問くださり、大変感謝しております。兄と私は一卵生双子児として74年間共に過ごして参りましたので、格別な寂しさがございます。しかし私の友人は兄の友人であり、兄の友人は私の友人であることも多く、皆様方には非常にお世話になりました。1人残りました私ですが、これからもお付き合いいただけますようお願いいたします。昨日兄を送り出したばかりで、こういうめでたい席に出るのは不謹慎だとは思いましたが、本日のアトラクションで行うオークションに関するプログラムを仰せつかっていましたので、私がキャンセルしてはかえって皆様にご迷惑がかかると思い、出席させて頂きましたことをお許しください。本当に今日はありがとうございました。

ニコボックス

亀井直人ニコボックス委員長

・4月1日は結婚記念日でした。今年は忘れていました。

亀井 直人さん

・妻の誕生日に素晴らしいお花をありがとう。 落合 諭さん

・1.この度の兄・野崎博の死去に際して、多くの皆様にご弔問頂き、感謝いたします。

野崎 洋二さん

・2.本日の理事会・CAに欠席を致しました。

・平成23年3月31日名古屋瑞穂RCより災害防止・交通安全功勞による顕彰をしていただき有難うございました。 鈴木 圓三さん

・ネクタイが行方不明です。 内田 久利さん

・野崎さん、この度はご愁傷様でした。また、本日はオークションの司会ありがとうございました。 入山 治樹さん

・1500回記念例会を祝して

大川 嘉成さん 西本 哲さん 鈴木 淑久さん
松岡 道弘さん 馬場 將嘉さん 岩田 修司さん
市岡 正蔵さん 田中 隆義さん 本多 清治さん
大島 浩嗣さん 平野哲始郎さん 渡辺喜代彦さん
吉木 洋二さん 岩田 吉廣さん 岡本 忠史さん
増田 盛英さん 関谷 俊征さん

会員66名 出席49名 (出席計算人数51名)

出席率 84.5%

3月31日は補填により 93.2%

幹事報告

加納 裕幹事

- ・4月10日(日)春の家族会です。瑞穂運動場駐車場前に8時15分に集合して下さい。
- ・4月14日(木)は振替のため休会です。

懇親会

司会:近藤茂弘親睦活動副委員長

乾杯:増田盛英さん

先日、岩手県盛岡市の少し北にある久慈酒造「南部美人」という会社の専務がテレビに出演して、「花見や壮行会をやめるのではなく是非東北のお酒を飲んで下さい」と仰っていました。早速、名古屋で扱う店を探しましたが、宮城や岩手のお酒はすでに売り切れていました。急遽仙台の友人に頼んで、宮城の『浦霞』と『男山』というお酒を送ってもらい、本日届きました。東北で震災にあった方々を元気づける為にも、本日は東北のお酒で乾杯させていただきますと思いますので、よろしく御協力お願い致します。

今は亡き初代の鈴木会長から始まり、歴代会長、幹事の皆様に変えお世話になり、会員の皆様にも様々なご協力を頂いて、本日は1500回記念例会を迎えることができました。1600回、1700回と2000回に向けて、この名古屋瑞穂RCが益々発展していくことと、会員の皆様とご家族のご健勝を祈念し、乾杯したいと思います。乾杯。

解説

会員 野崎洋二さん

セリの話



先程、兄の精進は落としました。せっかくの1500回記念例会ですので、明るく楽しくお話しさせていただき、皆様を楽しめるオークションを行いたいと思っています。

私は美術商をしており、骨董の取引は全てセリで行っております。セリに関してはプロ中のプロと思っていますので、皆様にはまずセリについてのお話をします。「オークション」というのは外来語で、日本では「セリ」や「セリ市」と呼びます。セリとは「糶り」という非常に難しい漢字を書きます。別の漢字で「競り」とも書きます。セリでは値段がどんどん上がっていくことを「競り上がり」と言いますが、語源は芝居から来ていると言われております。歌舞伎などで舞中央の穴から役者がだんだんとセリ上がってきますが、その台を「セリ」や「セリ台」と呼びます。セリの値段が段々と上がっていく様子から、セリと呼ばれるようになったようです。セリというものは通常、売り手が一人いて、買い手が複数いた場合に取引相手を決めるために使われます。魚河岸や青果商が行ったのがセリの始まりと言われ、後々にその他色々な業界の取引に使われるようになりました。江戸の中期頃(約300年前)からは書画や古道具の市が開かれ、現在は材木や牛、馬、宝石の業界でもセリが行われています。近頃は中古車もセリによって取引されています。

私は職業柄、美術品に相場はあるのかとよく聞かれます。私は「相場はあって、しかし相場はない」と思います。なぜかと申しますと、物には元々の価値があり、古くなったり、使用されれば価値は下がりますが、それをどうしても欲しいと思う人が一人ではなく、複数いると自然と値段は上がってしまいます。そうなると相場で手に入れたくても、買うとなると高くなってしまいます。特に美術品が高くなるのは、美術商が事前に下見をしてお客様に勧め、それに対していくらでも欲しいというお客様が仮に二人以上いると記録的な値段が付くことになるのです。近年ですと美術館から注文を受け、競り落とすことも多いようです。明治維新後、廃藩置県によってお金がなくなった大名達が自分の屋敷や家財道具全てをお金に換えた時代がありました。中国南方の焼き物である

「香合」という小さな美術品がある大名から売りに出された時、大阪の藤田男爵(現在の財団法人藤田美術館)が明治時代に数万円以上の値段を出して手に入れたそうです。ロンドンには『サザビーズ』と『クリスティーズ』という大きなオークション会社があります。資格がないとオークションには参加できませんが、下見として見学は可能でしたので、私も若い頃はヨーロッパに行く立ち寄りしました。ヨーロッパのオークションでは絵画や西洋骨董、家具などが高く取引されていました。

オークションというのは知識がないと大変な目に遭うことがあります。骨董品や美術品のご趣味のある方は、今後私に相談いただければ無茶な買い物をしなくて済むと思います。私のところでも、必ず信用のあるところで取引されることが一番大切です。今日のオークションは瑞穂RCの中ですから、間違いはないので安心してお買い上げ下さい。今回の売上金はニコボックスに入れますので、どうぞご協力ください。ありがとうございました。

アトラクション:オークション風景



閉会挨拶:平野哲始郎さん

今日は皆様にオークションでお買い上げいただき、合計で20万5千円という金額が集まりました。本当にありがとうございました。これにて1500回記念例会を閉会したいと思います。

「手に手つないで」唱和:近藤茂弘ソングリーダー

例会のご案内

■今週の行事 4月10日(木)

行 事:春の家族会

場 所:湯谷温泉泉山閣

※4月14日(木)は4月10日の振替により休会

■次週の卓話 4月21日(木)

卓話講師:愛知学院大学経営学部教授
岩田憲明さん

テ - マ:近頃元気な中小企業に学ぶ

■次々週予定 4月28日(木)

R規定により休会